



小江原っ子

長崎市立小江原小学校
学校だより 第2号
令和8年4月17日
校長 米村 郁子

新1年生17名が小江原小に仲間入りしました。

4月9日（木）、新入生17名が本校に入学してきました。入学式では、緊張した面持ちで体育館に入場してきましたが、担任が呼名をすると、皆、元気に返事をすることができました。校長式辞や育友会祝辞の間は、静かに話を聞くことができ、感心しました。2年生が1年生のために歓迎の言葉と音楽をプレゼントしましたが、1年後には、2年生のように鍵盤ハーモニカや打楽器を使って合奏もできるようになりますね。楽しみです。

入学式後は、浦上警察署交通安全協会の皆さんから黄色い帽子とランドセルカバーの贈呈を受けました。これから、この帽子とカバーが、子どもたちを車から守ってくれます。

入学式の翌日からは、荷物を片付けたり、体操服に着替えたりと、小学校生活に必要なことをたくさん覚えています。昨日から給食も始まりました。「1年生はじめての給食」の様子は、本校ホームページにアップしていますので、そちらもご覧ください。



確かな学力を身に付けるために

4月23日（木）に、3年生以上を対象に全国・県・市学力調査を実施します。子どもたちの学力の定着状況を把握し、学校として授業改善を進めるために重要な機会となります。子どもたちには、最後まで粘り強くテストに臨んでほしいと思っています。この週末に、キュービナを活用して、昨年度までに学習した漢字や計算の復習に取り組んでおくとういでしょうね。

子どもの夢の実現のために、学力はしっかりと身に付けさせておきたいものです。確かな学力のためには、学校の学習を効果的なものにするのと、家庭での学習習慣が大切です。年度当初、各ご家庭に「よくわかる！小江原小学校」を配付しております。「持ってくる学習用具」「クロームブック活用」「家庭学習」についても記載しております。内容をご確認のうえ、ご協力をお願いします。

持ってくる学習用具

- 〈筆箱の中身〉
 - 研いだ鉛筆5、6本（Bか2B）
 - 赤・青ボールペン（鉛筆）
 - 消しゴム（シンプルでよく消えるもの）
 - 定規（透明、シンプル、15cm ほど）
- 〈その他〉
 - クロームブックの充電

家庭学習の習慣化

- 〈学習内容〉
 - 毎日宿題を出しています。
 - 自主学習を奨励しています。
- 〈学習環境〉
 - 決まった時間、決まった場所で学習することが習慣化のコツです。「ながら学習」は全く効果がありません。



4月7日(火)、1学期始業式で6年生が述べた児童代表の言葉を紹介します。自分たちの行動から学校を変えていきたいという力強い「新6年生宣言」に、新しい小江原小学校の始まりを感じました。

おはようございます。新六年生の〇〇〇です。今日から新しい学年が始まり、みなさん、ドキドキ・わくわくしていることと思います。みなさんは、この一年をどんな一年にしたいでしょうか。私は今ここでこの一年間で小江原小学校をどんな学校にしていきたいか、私たち新六年生が目指す最高の六年生の姿について宣言し、小学校最後のこの一年をくいのない一年にしていきたいと思っています。

私は、小江原小を「誰もが笑顔になって、楽しくくらせる学校」にしたいです。そのために、私は特に「思いやりの大切さ」について学び、実践していきたいと考えています。

そう考えるようになったのは五年生での経験とこの学校の課題があったからです。私たち新六年生は五年生の宿泊学習で友達と三日間ともに過ごし、友達と過ごす中では思いやりの心が大切だと学びました。また、その後、嫌なことをしたり、かげ口や悪口、うわさ話をしたりして、人を傷つけてしまうこともありました。が、宿泊学習で学んだことを生かし、だんだんとそれらを減らしていくことができました。この時、たくさんの人と生活する中では、自分のことだけでなく、他の人のことも考えることで気持ちよく生活できることを学びました。



二つ目のこの学校の課題は、「あたりまえ」があたりまえになっていないことです。例えば、はさみ歩きをしたり、時間を守ったりすることです。今の学校は、このようなことができていません。この現状から、誰もが気持ちよく生活するには、ルールや時間を守り、「あたりまえ」をあたりまえにしていくことが大事だと気づきました。ルールを守らずにいると、他の人は嫌だし、自分も後から後悔します。だから、ルールや時間を守ることが、他の人にも自分にも「思いやる」行動となるのです。

だからこそ、まず、宿泊学習で学んだ「思いやりの心」をもって生活し、「私もこんなふうになりたいな」と他の学年に思ってもらえるようにしていきたいと思っています。そうすることで、この学校を「笑顔いっぱい楽しい学校」にしたいけると信じています。

一年生から五年生のみなさん、困ったことがあったら、いつでも私たち六年生に相談してください。私たちがこれまでの経験を生かし、みなさんと一緒に、笑顔あふれる最高の学校を作っていきます。先生方、地域の方、保護者の方、そして友達のみなさん、一年間よろしくお願いします。これで、私の「新六年生宣言」を終わります。

おはようございます。新六年生の〇〇〇です。今日から私たちは、この小江原小学校を引っ張っていく最高学年になります。私たちがどんな背中を下級生のみなさんに見せていくべきか、私は今日、自分たちの姿を見つめ直し、この一年間で変えていきたい「私たちの姿」について話します。

私は、六年生の活動を通して「自分の言動に責任を持てる小江原小学校」にしたいと考えています。そのためには、「注意すること」の意味について考え、実践して行く必要があります。

去年、私達は五年生になり高学年の仲間入りをしました。委員会活動など学校での仕事をもち、責任を持つて一年間を過ごすことができました。その反面、授業時間におしやべりしていたり、次の授業の準備ができていなかったりと高学年としてふさわしくない行動がありました。

私は、「注意をする」ということは、口で言うだけではなく、行動で示すことだと考えています。口で正しいことを言っているだけでも、行動が伴っていないければ相手に伝わりません。六年生は、下級生の目標となり責任を持って「注意する」存在になる必要があります。私達は今、下級生の目標となる言動や行動が取れているでしょうか。例えば、学校の六つの約束にある「あいさつ・言葉づかい」や「静かに清掃」など学校の決まりを守ることができているでしょうか。



日頃から生徒一人ひとりが、自分の行動や言動を振り返り、見直していくことが大切です。私は、みんなで協力し合うことが、学校全体をより良くすることにつながると確信しています。今年入学する一年生の「安心できる存在」として小学校最後の一年間を過ごしたいです。

まずは私自身が、言葉だけでなく行動で示せるリーダーになり、六年生全員で、誰に対しても恥ずかしくない、責任ある言動と行動を積み重ねていきたいと思っています。

下級生の皆さん、先生方、私たちが作る新しい小江原小学校を、どうぞ見ていてください。これで、私の「新六年生宣言」を終わります。